

東京総合美容専門学校
2023年度 自己評価報告書

学校法人佐々木学園
東京総合美容専門学校

評価項目の達成度及び取組状況

1.教育理念・目標

評価項目	適切：4 ほぼ適切・3 やや不適切：2 不適切：1	評価
学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが定められているか		4
理念・目的・育成人材像を実現するための計画・方法を持っているか		4
理念・目的は、社会のニーズなどに対応し適宜見直されているか		4
理念・目的・育成人材像等が教職員に周知され、学外にも公表されているか		4

①課題

2年前に本学園のミッション、ビジョン、バリューを明確に定めた。今年ミッションを分かりやすく修正した。全職員への浸透させることが課題である。

②改善方法

ミッション、ビジョン、バリューの浸透策を職員全員で意見交換するのがベストではないか。

③特記事項

募集パンフレットや学生生活のガイドブックに理念や目標、カリキュラムポリシーを掲載している。

2. 学校運営

評価項目	適切：4 ほぼ適切・3 やや不適切：2 不適切：1	評価
目的・目標に基づき、運営方針は明確に定められているか		4
目的・目標を達成するための事業計画が定められているか		4
意思決定のシステムは確立されているか		4
人事処遇に関する制度は整備されているか		3
教職員の増減に関する情報を明確に把握しているか		3
業界や地域社会に対するコンプライアンス体制は整備されているか		4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか		4
業務効率化を図る情報システム化がなされているか		4

①課題

昨年度より新人事制度の運用がスタートした。運用してみて個々人による評価基準のばらつきがみられた。均一化するまでには、少し時間が必要かと思われる。

②改善方法

自己評価と上司の評価、評価会議での最終の評価それぞれの考え方や経緯をしっかりと話し合うことが重要である。

③特記事項

入学生が減少するとクラス数も減少するため常勤教員の人員計画の策定が難しい。美容科、トータルビューティー科の両方を担当できる教員を増やしたい。

3. 教育活動

評価項目	適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1	評価
理念等に沿った教育課程の編成・実施方針を定めているか		4
修業年限に応じた教育達成レベルを明確にしているか		4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか		4
キャリア教育・実践的職業教育の視点に立ったカリキュラムになっているか		4
授業評価を実施しているか		4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか		4
目標とする資格・免許は、教育課程上で明確になっているか		4
資格（免許）の指導体制は整っているか		4
資格・要件を満たした教員を確保しているか		4
研修会など教員の資質向上への取り組みを行っているか		3
業界等との連携による教員の技術向上の機会を確保しているか		4
教員たちが連携を図れる組織体制を整備しているか		4

①課題

ミッションとして「学生の夢を叶える」を掲げている上で、その実践教育となるキャリアの授業の見直しが必要とのことで、昨年外部のコンサルに入ってください新年度からの導入に向けて準備を進めている。

②改善方法

準備を進めているキャリアの授業では、学生自ら卒業生や活躍しているプロの方々との接点を持たせ、気づきや目指すべき姿を発表させる予定である。

③特記事項

美容科では、教員達が夏休み期間に数日間サロン様で実際に就労体験をするインターンシップを実施している。今のサロンの技術やサービス等について共有したり学生へ伝達するようにしている。

4. 学習成果

評価項目	適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1	評価
就職率の向上は図られているか		4
資格・免許の合格率の向上が図られているか		3
卒業生・在校生の社会的評価を把握しているか		3

①課題

現状、卒業生とのつながりを保持する仕組みがなく活躍状況等の把握ができていない。

②改善方法

新年度から求人票をデータ入力・管理・閲覧できるシステムを導入する。このシステムは、利用した学生が卒業しても連絡を取れる仕組みがあるので活動状況の把握が可能になる。

③特記事項

昨年から、美容科有名店への就職率向上の取組を始めた。担当者達の頑張りで、有名店比率が飛躍的に向上した。引き続き取り組んで行く。

5. 学生支援

評価項目	適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1	評価
就職に関する支援組織体制は整備されているか		4
退学率の低減が図られているか		3
学生相談に関する体制を整備しているか		4
学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか		4
学生の健康管理を担う組織体制は整備しているか		4
学生の生活環境への支援は行われているか		4
課外活動に対する支援体制は整備されているか		3
保護者と適切に連携しているか		4
卒業生への支援体制はあるか		4
社会人ニーズを踏まえた教育環境が整備されているか		4
産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか		—

①課題

退学率は大きく減らすことはできていない。やはりメンタル面での退学が目立っている。経済面での退学は、後援会の奨学金や公的な奨学金で救うことができた。

②改善方法

学生自身が電話やメール、窓口でカウンセラーとの相談できる会社と契約をしている。ただし、利用件数が非常に少ないのが残念である。家計が厳しい家庭を救える就学支援新制度は、保護者の認知が少ないのでしっかりと広報していきたい。

③特記事項

今後、卒業生に対するスタイリストデビューを支援する教育カリキュラムをスタートさせる。教材費以外は無償で受講できる。スタイリストデビュー前に辞めてしまい、美容師になることをあきらめてしまう卒業生を少しでも減らしていきたい。

6. 教育環境

評価項目	適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1	評価
教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具を整備しているか		3
校外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか		3
防災・安全管理に対する体制は整備されているか		3

①課題

施設や設備の老朽化が進みメンテナンスが必要な個所が増えている。特にシャンプールームの修繕が課題になっている。

②改善方法

カリキュラムや授業の頻度をみながらメンテナンスの優先順位を決めている。補助金も利用しながら進めている。

③特記事項

東京消防庁推奨のネットで自衛消防訓練という仕組みを導入した。

7. 学生募集と受入れ

評価項目	適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1	評価
学生募集活動は、適切かつ効果的に行っているか		3
学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか		4
入学選考基準は明確になっているか		4
入学選考は、適性に行われているか		4
学納金は、妥当な金額設定になっているか		4

①課題

地方の高校生の入学者数がコロナ前までに戻っていない。1都3県の高校生を都内の美容学校での取り合いになっており苦戦が続いている。

②改善方法

東北エリアに特化したガイダンス業者と組んで出前授業を行ったり、ガイダンスに出向くようにしている。

③特記事項

独自の給付奨学金制度『スペシャルサポート制度』が4年目となる。意識の高い高校生の入学に繋がるため引き続き継続する。

8.財務

評価項目	適切：4 ほぼ適切・3 やや不適切：2 不適切：1	評価
学校及び法人の中長期的な財務基盤は安定しているか		4
予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか		4
法律や寄付行為に基づき、適切に監査を実施しているか		4
財務情報開示の体制は整備されているか		3

①課題

学生募集が厳しくなる中、常勤職員の人件費を安定的に確保する経費管理が重要となっている。

②改善方法

各授業における非常勤講師の必要性を十分検証しながら依頼するようにしたい。受講する学生の人数や科目特性等から判断するようにすべきである。

③特記事項

インボイス制度への対応業務が本格化する。経理担当者を中心に10月1日に向けた準備を進めている。

9.法令等の遵守

評価項目	適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1	評価
関係法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営がなされているか		4
個人情報保護に関する対策が取られているか		4
自己評価の実施体制を整備し評価を行っているか		4
学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか		4
学校関係者評価結果を公表しているか		4

①課題

美容科は、担当教員数に関する法的な基準が多く、また法改正への対応の必要がある。

②改善方法

東京都や豊島区の担当窓口への確認が重要である。また、他校の対応事例等も参考にできるようにネットワークを築いて行きたい。

③特記事項

SNS 等による広報活動が広がる中、学生の中で自身の写真の投稿を嫌がる者がいる。入学時に同意書ももらっているが、強制することなく対応している。

10.社会貢献・地域貢献

評価項目	適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか		4
国際交流に取り組んでいるか		3
学生のボランティア活動を推奨し支援を行っているか		3

①課題

今年も海外研修旅行は実施できなかったが、ボランティアやスチューデントサロンの授業は開校することができた。昨年同様、人数制限や頻度を減らしての開催のため教育的効果が下がってしまうことに懸念している。

②改善方法

コロナに対する国の 5 類への変更により、通常通りの授業・イベント開催ができることに期待している。

③特記事項

新年度から国際ビューティーコースの募集を開始する。全世界から入学者を迎える。